藏

₹/

N

樹

實ヲ

溫

湯

浸

**≥**⁄ 其

殼

リ質五

= **≥**⁄

木

合位

ŀ

共

=

ヲ 度

3/ タ

此

中

更

=

木

灰

升

五.

一合餘 外

ヲ ヺ シ ッ

ス 去

搔

キ

廻 升

木

灰 灰

= 升五

テ金米糖

ヺ

造

IJ

粝旱

1 左

實

日

人

,

採

取

ス

量

ゝ

四 那

斗

位

=

シ =

テ テ

此

採

取

3/

タ

ス

w

据\$

餅ま

製

法

新

潟

縣

船

館越

村立

調

何

年

間 ! 記

貯

藏

ス

w

Æ

腐

朽

ス

w w

=

ŀ

ナ 凡 岩 我

邦

海岸

地 楊 斷

方 梅

分

ス

= ナ 線

至

 $\nu$ 

٩٧

其

收 ラ ŀ

利

ナ 覧ァ

w

= 廣

ŀ 東

テ 赤

多言 ŀ

ヲ 更

**≥**⁄

若

シ

能 =

ク

將 久

來 **シ** 

楊 幸

梅 =

研

究ヲ

ス

w

ァ ے 中 テ

 $\nu$ 

٧٧ 布

前

記 jν

拙

著(近

刊)ニ

就

テ 大 n

ラ

ン 敢

=

ヲ

希

望

ス セ

w ザ

ナ w ヲ

y べ 栽

ゝ

各

方

Ì 刼

最

æ **≥**⁄

優品

y

ŀ ナ

稱

セ ズ

 $\nu$ 

タ

支

那

白

種

楊

梅

培

ス

w

ŀ

此

等

良

種

許

食

ス

w

時

服

飲 シ

悉

7

小

Æ

紐

ヲ

サ

云

フ

採 即 時 時 辟 ス チ w 藏 =  $\nu$ テ 法 下 臨 臗 ž 癒 嚏ヲ 痛 枋 痢 テ ス 一之ヲ ヲ 漆 ヲ ŀ w 果實 起 取 ヺ 斷 云 Ľ 服 €/ w チ フ 時 ŀ テ ス ヲ 圝 核 w 食 ŀ \* シ ヲ 藏 肼 ス 楊 ハ 拌 テ 丽 セ ۸ر w 叶 時 ۸. 痛 セ w 之 大 モ 酒 ヲ = 11: 7 , ヲ 痰 暴 止 身 L ۱۷ ヲ 體 五. メ 去 大 IV ス 渴 時 臟 ŋ 小 = = 吅 害 ŀ ヲ ヺ ٠, 醫 嚥 即 利 ァ 妙 ヺ ŋ 3 ナ チ ₹/ y 自 氣 五 止 食 ŀ 臟 ラ ヺ ŀ フ 云 × 破 下 叉 フ 7 時 云 食ヲ 注 和 裂 フ ス ۱ر 意 大 ŀ **≥**⁄ ス 0 テ 云 能 消 楊 出 利 べ フ ŋ **≥**⁄ 腸胃 キ 梅 ヅ 酒 尿 jν = , 毒 果實 裼 ヲ 7. 効 ŀ ŀ 梅 洗 ナ 云 下 7 ŋ 滌 ŋ フ ス 叉楊 叉 核 **≥**⁄ 1 テ 葱、 煩慣 劾 炒 楊 梅 脚氣 蕎麥、 惡氣 リ 梅ヲ粉 Æ 樹 體 ヲ ヲ 0 = 治癒 除 テ 煎豆 末 乾 、蕎麥ヲデ 害 # シ ŀ 叉燒 筡 テ ア ナ ス 層 ŀ jν ŀ **≥**⁄ 懕 同 之 灰 云 ŀ コ 時 7 フ 煉 ナ ŀ 小 テ ナ ٧. ス =

## 餅 法

新潟縣

平

塚

爲

雄

査 セ w 所 = 係 jν

jν 樹 實 ゝ 夜 水 = 浸 シ 日 光 = 曝干 **≥**⁄ 貯 藏 ス 此

 $\nu$ 

煮沸 溫 度 , ₹/ 樹 冷 實 却 セ 1 湯 ザ w 面 內 = 浮 藁 游 莚 ス w 包 = 3 至 臼 w

栃 餅 製 法

あきはぎい

はぎト共ニ今名はぎナ

ル事ハ自明

グノ解

デ

アルガ弦

=

放ラニ此

題ヲ提

出シタノハ叙上ノ種

Þ

ナ

は

今名

東

京

永

沼

小

郎

)あきはぎ

秋芽萬葉集卷第二

、餘義ヲ

、詳述シ

アテ是等

Ì

考ノ結尾

ŀ

ナサントテデ有

ル

已ニ云ッタ

如

クはぎノ古歌ハ萬葉

**ベノミデ** 

ŧ

百五

7

丽

**≥** 

テ其

八内あさはぎト

ン

ダノガ六七十首

ロモアル

但

シ 萬葉所載

歌

重複

ŀ

Æ

=

四千五百十六

省ト

註 餘

v

力

シテ見ル

ŀ 讀

本集中ノはぎノ歌

ハ總數ノ三十分

7

ト云フ大數ヲ占メ其歌數

ノ豐富

w

ŀ

現象デ有ル

又あさはぎト

續 ナ

ケ

歌

行

有

ノミ殊ニ釋名ノ如キハ何人モ之レニ指ヲ染メタルモノガ無カッタ

)倭名鈔ニ『辨色立成(まり)、新撰萬葉(常なり

歌 ガ只

ガ

有 は

ャ 力

> ナ ン

· 此續

+

柄

ハ只萬葉ニ

ノミニ二首ア

ダ

ケ

ナ ラ jv

バ

之レトハ趣ガ異フノデ有ル是、ノデやなざヲはるやなぎト續

ネ ゥ 讀 花

ナ

ラ

ヌ

殊 þ

考

ラ要 タ

ラス

jν 歌

,

ハ

、萬葉ト

撰萬葉ト

· -

限 iv ラ上 カラザ

リテ

芽

字ヲはぎト

7

セ

ァ

jν

但

是亦

ケ タ =

ク  $\nu$ w

ハ

餘 是

所 ジシ敷ニ

デ

ハ

無イデ有ラウ是

者

7

忽睹

スベ

ざきト

Z,º 及ブ ラ推

歌 ナ

継

ド伯仲シ

テ居

iv  $\nu$ 

是レ 考古

ハ歌句

ノ調

۴,

力

來

夕

子 1

, 置 N

・字ヲ

添 jν

ヘテ芽子トシ

ノハ却々多イケ

v

P, 新

モ之レ

ハ鑵子銚子椅

子 1  $\nu$ 

ナ

ドノ子

ŀ

同

ジ タ

コ =

ŀ ŀ

デ デ

剜

ノデア

扨此

芽

ノ字ニ就キテ古人ガ如何

ル解ヲ與

ø

カヲ調

べ

テ見ル

、二順朝

臣 字 訓

芽

ノ字ヲ用ウ、

芽

ハ音胡誤

ノ反(ゴ)、草名也

ŀ

併シ文化 唐韻

Ŧ

四

年.

春登上人

如 あくノ拔ヶ去 キ 溫

氣

洩

v

w

器

物

=

入

v

上

3

リ藁等ヲ

覆ヒ二書

夜放置

**V** 

爾後之ヲ

取

出

淸

水

=

浸

更

晝

夜能

植

物

古

名

考

(302)

4

ロルヲ ザ

何ヒ精實

升ニ

餅米五合ノ割トシ米ラ下ニシ蒸箱ニテ蒸

時へ上等

ノ餅ヲ製

ス w ス

w

**=** 

ŀ

ヲ得

シ v

其蒸熟

ス

ヲ 事

俟

チ =

取上ゲ之

ヲ

Þ

ニテ搗キ柔ラゲ餅ヲ製スル事普通ノ餅ノ如クス木灰ト米トヲ多クスル

物

古

考

(承前